

平成31年2月1日(金)



つつじが丘小学校
学校だより

つつじ

昭島市立つつじが丘小学校長 上田 祥市



9年間を見通した教育活動へ

副校長 森本 弘子

1月25日(金)瑞雲中学校、武蔵野小学校とともに3年間取り組んできた、小中一貫教育についての研究発表会を瑞雲中学校にて行いました。市内各小中学校の教員をはじめ、地域の皆様にも多数ご参会いただきました。

義務教育を終える段階でどんな力が身に付いていけばよいのか、目指す生徒像を共有し、9年間を見通した教育活動について研究してきました。

「つなぐ・そろえる・つらぬく」この3つをキーワードに「すぐにでもできること」「児童生徒の側から考えること」「自立と共生につながることを意識して進めてきました。



発表会では、まず、6年生(道徳・社会)、中学1年生(理科)、中学3年生(社会)の授業を公開しました。また、児童生徒の直接交流として、児童会・生徒会の代表が集まって「瑞雲サミット」も行われました。

授業後には、3校の教員が授業、生活指導、行事の面で、14のプロジェクトチームに分かれ、何度も話し合い、アイデアを提案し、実践してきたことについても各プロジェクトで発表しました。

この研究を機に9年間を見通した教育活動がスタートしました。今ある各学校の特色を生かしながら、次年度以降も継続し、「自立と共生」に向かって歩んでいきます。

さて、本校の特色ある教育活動の一つに読書活動があります。毎週月曜日の朝読書、年2回の読書旬間、ボランティアの方による読み聞かせ、図書室整備や毎月変わる読書掲示板など、多くの方の協力をいただきながら、読書活動に力を入れています。

読書は、心の栄養です。本を読むことで、色々な世界を体験できます。登場人物に心を寄せて読んだり、物語の世界を想像したりすることで、想像力や感受性が豊かになります。また、本から多くの知識を得ることができるだけでなく、語彙力、読解力、思考力、表現力が身に付くことが広く知られています。小学校で読書の習慣が身に付くと、中学校での自主的な読書につながります。ご家庭でもぜひ、本を読むようお声かけをいただけたらと思います。

今月4日(月)から22日(金)までの3週間は、読書旬間です。本校では、この期間、図書委員が中心となって、葉を配布したり読み聞かせを行ったりするなどの取組を行います。また、先生たちのおすすめの本の紹介もあります。22日(金)は、毎年恒例の先生たちによる読み聞かせ「読書タイム」です。子供たちは聞きたい本を選びます。どの先生になるかは当日のお楽しみです。本好きな子供たちが増えてくれることを願います。

寒い日が続いていますが、先日友人から、庭に置いたミカンを食べにやってきたメジロの写真が届きました。心がほっと温かくなりました。春探しを楽しもうと思います。

